

マザアスニュース



MOTHERTH
SOCIAL WELFARE
JURIDICAL PERSON

ひだまり

HIDAMARI

MOTHERTH
NURSINGHOME
FOR THE AGED

No.49
2008.7.15号



蒼い夏

ひだまり今月号の特集

- マザアスの新たな挑戦／施設長：高原敏夫
- 開設記念式典 [マザアス東久留米・日野]
- 新任職員の抱負 ●折り紙の奇才誕生
- マザアス・プチ画廊 [マザアス東久留米]
- 逆デイサービスの紹介 [マザアス日野]

● 新たな挑戦

私どもの法人が事業を開始して14年目になりました。介護保険の実情、求人難の現状等、様々な課題を抱えながら歩みを続けていますが、ここに新しい事業を展開することになりました。新宿区の旧戸山中学校の一部で地域密着型複合施設：小規模特別養護老人ホーム、ショートステイ、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護の取り組みです。この事業内容は6月10日の正式な決定通知によるものです。 [施設長：高原敏夫]

● 高齢者施設福祉部会

4月15日(火) 介護保険報酬に関する要望書を舩添要一厚生労働大臣に提出いたしました。介護報酬の地域格差を是正し、地域係数を見直す事で特養ホームやデイサービス等の介護体制の改善が期待できる事など、5項目について説明し、要望して参りました。



要望書を渡す高原施設長



説明を聞く舩添厚生労働大臣

● 開設13周年記念式典

平成20年5月9日、マザアス東久留米は開設13周年を迎えました。年々回を重ねるごとに多くの方々との交流や地域に密着したボランティアの方々に支えられて今日があることへの思いが深まってきます。今年は特定非営利活動法人 認知症予防サポートセンター副理事長である釘宮由紀子氏により、「地域で健康に暮らし続けるために」知っておきたい認知症の知識と題して記念講演をして頂きました。クイズ形式で興味深い内容を解りやすく講演して頂きました。後半は東久留米を拠点に活躍している「アンサンブル音花束」の特別演奏で心の癒しを味わう事ができました。



記念講演風景



講演中の釘宮氏



特別演奏風景



アンサンブル音花束のみなさん
今田行江さん(チェロ)・清水温子さん(フルート)・河野幸恵さん(ピアノ)

● 新任職員4人に聞きました

Q.記念式典に参加した印象と今後の意気込みを聴かせて下さい。

廣崎：ボランティアの皆さんの人数の多さに驚きました。ご利用者との趣味活動を行う場としてマザアスの存在、それを支えて下さっているのがボランティアの皆さんであるということ強く実感しました。これからの決意として、現状に満足せず、多くの事を学び、マザアスがより良い住まいとなるよう努力したいと思います。

山腰：記念行事に参加されていたボランティアの方々を見て、開設当初からたくさんの方々にマザアスは支えられて来たんだということを実感し、感動しました。特別演奏もずっと聴いていたいくらい素敵でした。これからは、温かいマザアスでたくさんの事を吸収して、自分らしいケアを発見していきたいと思います。

山田：昼食会場のセッティングで、職員の見事な連携プレーに感動しました。アンサンブル音花束の特別演奏がとても良かったです。また是非マザアスで演奏して欲しいと思いました。今後の心構えとして、皆さんに迷惑をかけないよう、一生懸命頑張りたいと思います。

大越：人の多さに驚きました。多くの人達の力によってマザアスは支えられ、成り立っているんだということを実感させられました。感動しました。これからも精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

● マザアスに折り紙王子誕生

折り紙とは思えないほど精巧な薔薇の花を折るのは、夜間のマザアスを守る宿直員で、現在、日本社会事業大学3年の成田竜弥（なりた たつや）さん21歳。成田さんは昨年春頃にご利用者の誕生日カードの装飾品を依頼され、思案した末に考えついたのが以前に一寸だけ手がけた事のあった折り紙で作る薔薇の花だったそうです。

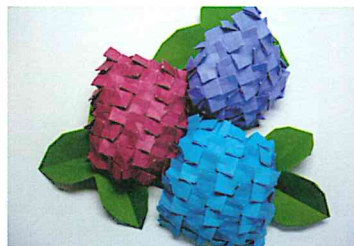
その後、宿直業務が終わって、机の上に置き忘れていった薔薇の折り紙が出勤してきた職員の目に留まり、評判となりました。以来、薔薇の花を始め、紫陽花、菖蒲などの花ものから羊や馬、蛙などの小動物なども自在に折り紙で作り、やがて成田さんは「折り紙王子」と呼ばれるようになりました。インターネットで検索しながらレシピ（設計図）を自分で作成し、始めは40分かかって作っていた薔薇の花も今では15分足らずで作ってしまうほどの上達ぶりです。また、これらの折紙は、花菖蒲を除いては全て1枚の紙で作られています。切ったり貼ったり一切しないで1枚の紙をひたすら折る事によって作られています。「折り紙王子」成田さんの作品の一部を下記に紹介いたします。本物をご覧になりたい方は、是非マザアスへおいで下さい。



可憐な薔薇の花



奥ゆかしい花菖蒲



瑞々しい紫陽花



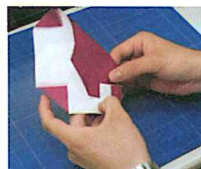
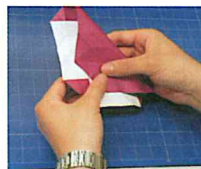
躍動的な動物たち



なりた たつや

昭和62年埼玉県川越市出身。

高校時代は野球部に在籍。レフトで6番バッテリー。日本社会事業大学では社会福祉学部福祉援助学科介護コースを専攻。将来の夢は公務員。物静かな表情の奥に、将来の日本を背負って立つ、凛とした眼差しが見える。折り紙なら何時でも教えてくれる。



慣れた手つきでスイスイと折り紙を折る成田さん

● マザアス・プチ画廊の紹介

以前ひだまりで紹介した富田倫子画伯の油彩画を始め、地域の方々に頂いた貴重な絵画作品をマザアスエントランスホールや、新装なった特養の随所に飾りました。絵画は音楽と並び、心を癒す最も身近なツールとも言われ、見る者の心理状態を落ち着かせる力があります。折りに触れ、深淵な絵画作品をご鑑賞頂けば、1日の疲れも少しは取れるのではないのでしょうか。



特養の一角に飾られた絵



殺風景だった相談室の絵



階段室を飾る絵



部屋の雰囲気にマッチする絵



マザアス・プチ画廊となったエントランスホール

● マザアス日野 開設9周年記念式典 [平成20年5月1日]

開設記念日はボランティアの皆様へ感謝する日として定着し、施設全体でお祝いしました。今年はテナーサックス奏者の村瀬彰吾さんによるポピュラー音楽の披露や、成年後見センター司法書士の相田浩和さんによる「その人らしく生き続けるための支援」と題した講話で盛り上げて頂きました。

日頃、ボランティアの皆様には個人、またはグループ単位で活動して頂いています。開設記念日は皆様が一堂に会する数少ない機会となっています。毎年恒例としたことで、ボランティア同士の横のつながりも築きつつあるようです。マザアス日野を舞台にして、ボランティアの輪が広がっていくことに期待しています。

おかげさまで昨年度は延べ1858人の方々がボランティア活動に参加していただきました。皆様の献身的な働きにはご利用者をはじめ、職員共々感謝しているところです。今後も地域に開かれた施設を目指しながら、ご利用者の満足度向上に努めていきたいと思ひます。



記念式典の様子



多くの方々にご出席いただきました



バイキングスタイルの食事で和洋盛りだくさんの料理が並びました

● 逆デイサービス

[生活相談課：榎本拓也]

逆デイサービスは、施設から地域の民家などに出かけ、ご利用者の方に家庭的な雰囲気の中で過ごして頂くことを目的としています。自宅から施設に通うデイサービスに対して、施設から地域へ出向くサービスが逆デイサービスというわけです。日野事業所では、日野市からの委託事業として平成17年度から始まり、今年度で4年目となりました。現在は、近隣の地区センターを活動の場所としています。スーパーで食材を買い物してボランティアさんと一緒に昼食づくり、小グループでの音楽療法など、楽しい団欒のひとつときです。調理室では包丁を使って自ら食事の支度をしたり、音楽療法ではいつも以上に張り切って活動に参加されたりと、ご利用者の皆様にとって、生活空間を拡げる絶好の機会となっています。



一緒に作った昼食を楽しんでいる様子



日野市立市下田地区センター



できあがった昼食メニュー



慣れた包丁さばきです



満面の笑顔でそうめん流し



そして食後の散歩

● 逆デイサービス/音楽療法

楽器がいっぱい

[音楽療法士：小原信子]

逆デイサービスでは、ご利用者が会話や活動に自発的に参加しやすいように少人数の参加者が開放的な環境のもと、和気藹々と音楽を楽しんでいます。プログラムはカラークロックンを用いたハーモニー挨拶から始まり、軽い体操で緊張をほぐし、季節や行事の歌唱を用いた歌詞想起や回想、合奏による楽器の操作、またのど自慢大会では好きな歌を披露していただき、発散に繋げています。とりわけ楽器活動は初めて触れる楽器に戸惑いながらも興味を示して自由に演奏して下されると、参加者の新たな一面が引き出され、明るい和やかな雰囲気になり笑顔が見られるようになります。このような音楽活動が刺激となり、日常生活において心地よい状態や生活意欲へと還元できるようにプログラムを引き続き工夫し、実践したいと考えています。



活気に満ちた音楽療法の様子



自然に口から歌が出てきます



色々な楽器が揃っています



楽しい様子がうかがえます



おはらのぶこ プロフィール

日本音楽療法学会認定音楽療法士。日本介護福祉学会会員。現在、特養ホーム、介護老人保健施設、病院などで音楽療法を実践中。国立音楽大学声楽学科卒業後、(財)ヤマハ音楽振興会に入社し、音楽教育活動の傍ら帝国ホテルや明治記念館でのブライダル演奏をはじめ、あらゆるジャンルの音楽の弾き語りを中心に各地で演奏活動を行う。大学在学中に箏・三弦(生田流當道派)の師範取得。和洋の楽器の編集や演奏活動を続ける。

MAKING OF COVER 7月号表紙写真

夏がやってきました。麦わら帽子と蝉のなきごえ、小川で遊ぶ子供達の賑わい。そんな夏の原風景もすっかり減り、今はやりの昔懐かしい昭和30年代の写真集を見ながら全盛時代を懐古するしかないのでしょうか。幸い東久留米市周辺にはまだ武蔵野の風景が残っているといえます。田圃こそなくなりましたが、昨年上映された東久留米が舞台の「河童のクウと夏休み」を観ながら夏の今昔話に興じてみては如何でしょうか。表紙写真は真夏の萌えるような情熱植物クロトン。クロトンはマレー半島原産、トウダイグサ科の熱帯植物で花言葉は「妖艶」。



表紙写真大募集! 写真を撮り続けている方、絵を描いていらっしゃる貴方!プロ、アマは問いません。マザスニュース「ひだまり」の表紙写真を飾ってみませんか。東久留米や日野の風景写真や絵画にエピソードを添えてマザス広報委員会までどしどし応募ください。

連絡先: マザス東久留米 042-477-7261 マザス日野 042-582-1661

■ 特別養護老人ホーム マザス東久留米
TEL 042-477-7261 FAX 042-477-7500
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ デイサービスセンター マザス氷川台
TEL 042-477-7263 FAX 042-477-7500
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ ヘルパーステーション マザス氷川台
TEL 042-477-7260 FAX 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ グループホーム ひかわだい
TEL 042-477-2150 FAX 042-477-2150
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ 居宅介護支援事業所 マザス氷川台
TEL 042-470-1740 FAX 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ デイサービスセンター マザス大門
TEL 042-470-0065 FAX 042-470-8024
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ 東久留米市東部地域包括支援センター
TEL 042-473-9996 FAX 042-473-9986
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ グループホーム たきやま
TEL 042-477-1525 FAX 042-477-1525
〒203-0032 東久留米市前沢5-25-14

■ グループホーム おがわ
TEL 042-349-0160 FAX 042-349-0161
〒187-0032 小平市小川町1-113-8

■ 特別養護老人ホーム マザス日野
TEL 042-582-1661 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ デイサービスセンター マザス多摩川苑
TEL 042-582-1675 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ ヘルパーステーション マザス多摩川苑
TEL 042-582-1673 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 居宅介護支援事業所 多摩川苑
TEL 042-582-1672 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 在宅介護支援センター 多摩川苑
TEL 042-582-1707 FAX 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ グループホーム たまだいら
TEL 042-589-3668 FAX 042-589-3669
〒190-0062 日野市多摩平2-13-14

お知らせ《東久留米告知板》

■ 夕涼み会(特養)・夏祭り(通所)

日時: 夕涼み会/20年8月23日(土) 18:30~

夏祭り/20年8月21日(木)~23日(土) 10:00~15:00

場所: マザス東久留米: 特養・通所サービス課

お知らせ《日野告知板》

■ 納涼祭

日時: 20年8月2日(土) 16:00 - 19:00

場所: マザス日野

ひだまり No.49 EDITOR'S NOTES 編集後記

LEADER'S VOICE

今年度より、広報委員になりました。
インタビューや記事集めなど初めての製作となりました。

田嶋課長をはじめとする広報委員の皆様方に
助けられ、完成にこぎつくことができ、一安心です。今後ともよろしくお願い致します。

師岡・和久

STAFF

マザス広報委員会

発行責任者	高原敏夫
編集責任者	田嶋精二
広報委員	山崎宣子 大川奉宏 名取良子 和久真弓 諸岡美由紀

構成 田嶋精二

発行所 社会福祉法人マザス
〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7
tel: 042-477-7261 fax: 042-477-7500
ホームページ: <http://www.moth.or.jp>